

黒潮圏シンポジウム

「黒潮圏科学－10年の歩みと明日への課題－」

第一部 (13:00～14:35) 黒潮圏科学の歩みと現段階

黒潮圏科学の現段階～到達点と課題～

人とサンゴの共生～コモンズ再構築の試み～

サンゴと褐虫藻の共生構造の解明

ヒトからサンゴへ～染色体研究の新展開～

土佐湾の藻場の変化と利用

沿岸環境の指標種としての囊状緑藻

黒潮圏設立期からみた評価

～100年先の人間社会の視点から～

大島俊一郎

新保輝幸

関田論子

田口尚弘

平岡雅規

峯 一朗

高橋正征

(高知大学名誉教授)

第二部 (14:55～16:10)

持続可能社会を実現するための学際・国際的な研究の条件

地域研究の学際・国際研究的アプローチ

～新たな地平の創造～

河野泰之氏 (京都大学東南アジア研究所・教授)

持続可能社会への知識コミュニティの新たな役目

～地球温暖化問題からの展望～

西岡秀三氏 (地球環境戦略研究機関・特別顧問)

第三部 (16:25～18:00) 討論: 黒潮圏科学の今後を考える

日時 2013年12月21日(土)13:00～18:00

場所 高知大学朝倉キャンパス共通教育棟2号館212教室

連絡先 黒潮圏総合科学専攻事務室 TEL: 088-864-5786

第一部・第二部: DCセミナー・黒潮圏セミナー(共に文系・理系)指定

主催: 黒潮圏総合科学専攻・黒潮圏科学部門